

1989年(平成元年) 7月13日(木曜日)

言論 文化 産業

「GHQ文書研究ガイド」出版

市民グループ「むくげの会」

朝鮮史研究の叢書第1冊目

朝鮮史を学ぶ市民グループ「むくげの会」は、会員らの研究をまとめたむくげ叢書(そうしょ)の出版を始め、第1冊目として、在日朝鮮人問題研究家の金英達(きんえいたつ)氏(じ)による「GHQ文書研究ガイド」を発行した。

同会は結成十八年目で、会員は阪神間の市職員、大学職員、会社員ら八人。神戸市灘区山田町三、神戸学

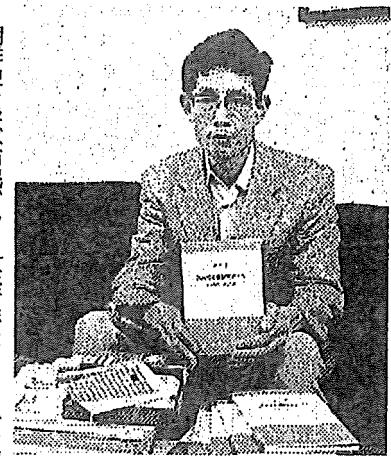
生青年センターで、朝鮮に対する日本人の偏見を正していくと、毎週研究会を開いている。

「GHQ文書研究ガイド」は、国立国会図書館(東京都千代田区)がマイクロフィルム化し、保存しているGHQ文書の具体的利用法をていねいに解説。GHQ文書資料のリストも記し、格好の手引きとなっている。

同会は今後五年間に計二十冊の出版を予定。「商業ベースに乗りにくい専門的な内容の本の出版をあと続けたい」としている。

「GHQ文書研究ガイド」

はA5判、百十九ページ、定価三千円。問い合わせは五一一七六〇〇へ。



「GHQ文書研究ガイド」を出版した金英達さん

四月、GHQによる朝鮮人学校閉鎖に反対する朝鮮人約六千人が廳内に押し寄せた神戸事件があつたが、從来の在日朝鮮人史研究では、GHQ側資料が欠けていた。

金さんは「現在の在日朝鮮人問題の原因は、終戦直後のGHQ政策。それを研究するため、国会図書館のマイクロ資料を活用したが、欲しい資料を探すのに苦労しただけに、費電マイクロ資料の利用案内にも心を碎いた」と話している。

同会は「GHQ文書研究ガイド」を発行した。同会は今後五年間に計二十冊の出版を予定。「商業ベースに乗りにくい専門的な内容の本の出版をあと続けたい」としている。

「GHQ文書研究ガイド」

はA5判、百十九ページ、定価三千円。問い合わせは五一一七六〇〇へ。